

登園届、登園許可証(医師が記入)が 必要な感染症について

吉沼幼稚園
保存版

病名	感染経路、潜伏期間、主な症状	当園可能な基準
インフルエンザ	〈感染経路〉飛沫、接触 〈潜伏期間〉1-3日 〈症状〉急な高熱、関節痛、筋肉痛、頭痛、咽頭痛、咳、鼻汁	発症した後5日を経過し、かつ解熱して3日を経過後。「登園届」が必要。
新型コロナウイルス感染症	〈感染経路〉飛沫、接触、エアロゾル 〈潜伏期間〉1-14日 〈症状〉発熱、咳、咽頭痛、息苦しさ、倦怠感、臭覚異常、味覚異常	症状あり:発症した後5日を経過し、かつ症状が軽快して1日を経過後。 症状なし:検体を採取した日から5日を経過後。「登園届」が必要。
水痘(水ぼうそう)	〈感染経路〉空気、飛沫、接触 感染力が強い 〈潜伏期間〉14日程度 〈症状〉強いかゆみのある発疹が体幹から全身、頭部まで出現。赤い丘しんから水泡、かさぶたへと徐々に変化する。発熱はある場合とない場合がある。	全ての発疹が痂皮(かさぶた)化していること。 「登園届」と「登園許可書」が必要。
麻疹(はしか)	〈感染経路〉空気、飛沫、接触 感染力が強い 〈潜伏期間〉10-12日 〈症状〉38℃前後の発熱、咳、鼻水が2-4日続き、口の中に白色の小斑点が出現。熱が一度下がったあと半日で再び39℃前後まで上昇。同時に赤い発疹が耳の後ろや顔から全身に広がる。	解熱後3日を経過していること。「登園届」と「登園許可書」が必要。
風疹	〈感染経路〉飛沫、接触 〈潜伏期間〉2-3週間 〈症状〉軽い発熱と同時に淡紅色の発疹が顔から全身に広がり、3日程で消える。リンパ節が腫れる(首、耳の下)。	発疹が消失していること。「登園届」と「登園許可書」が必要。
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ、ムンプス)	〈感染経路〉飛沫、接触 〈潜伏期間〉2-3週間 〈症状〉片側または両側の耳下腺や顎下腺、舌下腺の腫れと痛み。発熱を伴うことが多い。	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発現してから5日を経過し、かつ全身状態が良好になっていること。「登園届」と「登園許可書」が必要。
咽頭結膜熱(プール熱)	〈感染経路〉飛沫、接触 〈潜伏期間〉1-3日 〈症状〉39℃前後の発熱、咽頭炎、(咽頭発赤、咽頭痛)、結膜炎(結膜充血、目やに)	発熱、充血等の主な症状が消失した後2日を経過していること。「登園届」と「登園許可書」が必要。
流行性角結膜炎(はやり目)	〈感染経路〉飛沫、接触 〈潜伏期間〉1-3日 〈症状〉結膜(白眼)の充血、目やに、流涙	症状が消失していること。「登園届」と「登園許可書」が必要。
急性出血性結膜炎(アポロ熱)	〈感染経路〉接触 〈潜伏期間〉1-2日 〈症状〉強い目の痛み、結膜充血、結膜下出血	症状が消失していること。「登園届」と「登園許可書」が必要。
結核	〈感染経路〉空気 〈潜伏期間〉様々 〈症状〉長引く咳、痰、微熱	医師による検査、診察を受け、感染の恐れないと認められていること。「登園届」と「登園許可書」が必要。

病名	感染経路、潜伏期間、主な症状	当園可能な基準
百日咳	〈感染経路〉飛沫、接触 〈潜伏期間〉7-10日 〈症状〉風邪症状から始まり次第に咳が強くなり、1-2週間で特有な咳発作(咳込んだ後にヒューという笛を吹くような音を立てて息を吸う)になる。 夜は夜間に悪化	特有の咳が消失していること、または適切な抗菌薬による治療が終了していること。「登園届」と「登園許可書」が必要。
腸管出血性大腸菌感染症(O-157)	〈感染経路〉飛沫、接触 〈潜伏期間〉1-3日 〈症状〉激しい腹痛、頻回の水様便、血便、発熱は軽度	医師による検査、診察を受け、感染の恐れないと認められていること。「登園届」と「登園許可書」が必要。
溶連菌感染症	〈感染経路〉飛沫 〈潜伏期間〉2-5日 〈症状〉高熱、喉の痛みや腫れ、莓舌(舌に莓のようなブツブツが現れる)、全身に赤い小さな発疹。	抗菌薬の内服後24時間以上が経過していること。「登園届」が必要。
手足口病	〈感染経路〉飛沫、接触 〈潜伏期間〉1-3日 〈症状〉水泡性の発疹が口腔内や手の平、足の裏、足背などに出現。発熱は軽度	発熱や口腔内の水泡、潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること。「登園届」が必要。
感染性胃腸炎(ロタウイルス、ノロウイルス等)	〈感染経路〉飛沫、接触 〈潜伏期間〉1-3日 〈症状〉嘔吐、下痢(ロタウイルスは白っぽい色の水様便)、発熱	嘔吐、下痢等の症状が治まり、普段の食事がとれること。「登園届」が必要。
RSウイルス感染症	〈感染経路〉飛沫、接触 〈潜伏期間〉1-3日 〈症状〉発熱、鼻汁、咳、喘息	呼吸器症状が消失し、全身状態が良いこと。「登園届」が必要。
伝染性紅斑(りんご病)	〈感染経路〉飛沫、接触 〈潜伏期間〉1-3日 〈症状〉軽いかぜ症状後、両頬の紅斑と、手足に網目場の紅斑が出現。紅斑出現時には、すでに感染力はない。	全身状態が良いこと。「登園届」が必要。
マイコプラズマ肺炎	〈感染経路〉飛沫 〈潜伏期間〉2-3週間 〈症状〉咳、発熱。咳は、徐々に激しくなり、解熱後も長期間続く。	発熱や激しい咳が治まっていること。「登園届」が必要。
ヘルパンギーナ	〈感染経路〉飛沫、接触、経口 〈潜伏期間〉2-6日 〈症状〉高熱、咽頭痛、喉の奥に小さな水泡形成	発熱や口腔内の水泡、潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること。「登園届」が必要。
伝染性軟属腫(水いぼ)	〈感染経路〉接触 〈潜伏期間〉2-7週 〈症状〉1-5mmの光沢のある柔らかい水いぼ。中央が少しくぼんでいる。痛みやかゆみはない。	掻き壊し傷から滲出液が出ているときはガーゼなどでおおえること。「登園届」が必要。
伝染性膿痂疹(とびひ)	〈感染経路〉接触 〈潜伏期間〉2-10日 〈症状〉湿疹や虫刺された後を掻いたところに細菌感染を起こし、びらんや水泡を形成。かゆみも伴う。	皮膚が乾燥しているか、湿潤部位がガーゼなどでおおえる程度のものであること。「登園届」が必要。
アタマジラミ症	〈感染経路〉接触 〈潜伏期間〉10-14日 〈症状〉頭髮に卵や成虫が寄生し、頭部にかゆみが出現。	登園禁止ではないが、集団生活のため、条件付きで登園可能。「登園届」が必要。

